



義歯(入れ歯)について知ろう!

	義歯の種類	義歯の外し方
部分床義歯	<p>自分の歯が残っている場合に入れます。自分の歯に義歯を維持するためにクラスプ(留め具)など細かい装置がついています。</p>	<p>基本的にはクラスプ(留め具)に指をかけて外します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 両手で取り扱う 最後まで指で押し込む かんで押し込むのは厳禁
全部床義歯(総義歯)	<p>上顎、下顎それぞれの自分の歯がなくなった場合に入れます。</p>	<p>基本的には下顎の入れ歯から外します。上顎の入れ歯がゆるく落ちてくるようでしたら、上顎から外しましょう。</p> <p>注意! 取り出すときは口を傷つけないように総入れ歯は大きいので、無理に外そうとすると口を傷つけてしまいます!</p> <p>回転させて取り出す</p> <p>奥歯の方を手前に持つてくるように回転させて、幅の狭い方から取り出します。</p>

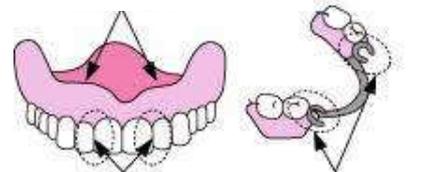
★義歯の必要性★

義歯の役割は、失った歯や歯を支える歯ぐきを回復し、食べ物を噛んで飲み込むという咀嚼機能を改善することです。義歯を使う大事な目的の一つは、オーラルフレイルを予防することにあります。

義歯の清掃の仕方 汚れや細菌を取り除くことが大切です。流水で食べかすなどの大まかな汚れを洗い流してから、義歯用ブラシで義歯を清掃します。義歯を落として破損したり、排水口に流さないよう、水を張った洗面器の上で洗うといいでしょう。歯ブラシでは落ちにくいステイン(茶渋などの汚れ)・口臭などの除去には、義歯洗浄剤が効果的です。

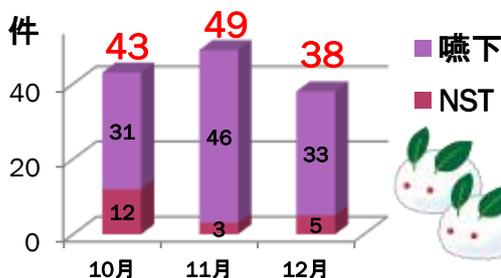
担当: 谷西かおり、池田光美

よごれが残しやすい部分
内側のくぼみ



歯と歯の間 部分入れ歯の維持装置

月別栄養サポートチーム加算件数



●オーラルフレイルとは?

加齢などにより、歯や口の機能が衰えた状態のことです。「話がしにくい・飲み込みにくい・むせる・こぼす」などが、舌を含めた口の周囲の筋肉の衰えでおこります。滑舌の悪化、口の中が乾くなどもその症状です。身体の衰えの一つですが、気がつきにくいので、普段から注意する必要があります。

